

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 21 年 7 月 2 日 (2009.7.2)

【公表番号】特表 2008-538981 (P2008-538981A)
 【公表日】平成 20 年 11 月 13 日 (2008.11.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-045
 【出願番号】特願 2008-508847 (P2008-508847)
 【国際特許分類】

A 6 1 N 1/365 (2006.01)

A 6 1 B 5/0402 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 1/365

A 6 1 B 5/04 3 1 0 N

A 6 1 B 5/04 3 1 0 M

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 3 月 17 日 (2009.3.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

両心室性ペーシング・モードで患者に心臓再同期化治療を実施するための最適のペーシング・パラメータを設定するシステムであって、

両心室性ペーシングを送るための埋め込み可能な心調律管理機器であって、心房事象に続いて、指定された両心室性オフセット間隔 B V O によって分離された左右の心室ペーシングが房室遅延間隔 A V D で与えられるように、前記左右の心室ペーシングを心房トラッキングまたは A V 順次モードでもたらしようにプログラムされた機器と、

前記 L A - L V 間隔と指定された、前記患者の左心房収縮と、左心室収縮との間の時間間隔を測定するための手段と、

前記 L A - L V 間隔を指定された閾値 T h 1 と比較し、前記 L A - L V 間隔が前記閾値 T h 1 未満である場合、前記患者を長期の心房間遅延があるものとして識別する手段と、

前記心臓再同期化治療が前記長期の心房間遅延を補うように実施されるやり方を調整する手段と

を含むシステム。

【請求項 2】

前記調整する手段が、前記 L A - L V 間隔が前記指定された閾値 T h 1 未満である場合、前記左心房のペーシングを開始するための手段を含む請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記調整する手段が、前記 L A - L V 間隔が前記閾値 T h 1 未満である場合、左心房と左心室の十分な同期性を維持するのに十分長くなるように選択された、指定された房室 (A V D) 間隔により、心臓再同期化治療を両心室性ペーシングとして、心房トラッキング・モードまたは A V 順次ペーシング・モードで行うための手段を含む請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

心拍出量に関する変数を測定する間に、前記 A V D 間隔を変える手段と、

前記 A V D 間隔を心拍出量に関する変数を最大化する値に設定する手段と

をさらに含む請求項 3 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記 A V D 間隔設定手段が、最適な A V D 値を自動的に計算し、前記 A V D パラメータをその値に設定するようにプログラムされた埋め込み可能な機器の制御装置である請求項 4 に記載のシステム。

【請求項 6】

無線遠隔測定リンクを経由して前記埋め込み可能な機器との通信のための外部プログラムをさらに含み、前記 A V D 間隔設定手段が、最適な A V D 値を自動的に計算し、前記 A V D パラメータを前記埋め込み可能な機器内のその値に設定するようにプログラムされた外部プログラムである請求項 4 に記載のシステム。

【請求項 7】

右心房の感知またはペーシングに続いて、前記左心房が指定された心房間遅延 (A A L) 間隔でペーシングされる請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 8】

左心室事象に先行して、前記左心房が指定されたオフセット間隔でペーシングされる請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 9】

前記指定された A A L 間隔が心臓レートによって変わる請求項 7 に記載のシステム。

【請求項 10】

前記指定されたオフセット間隔が心臓レートによって変わる請求項 8 に記載のシステム。
。